

【教育目標『自律』『創造』『協働』重点目標「互いの良さを認め、学び合いを通して自己を高めよう」】



学校だより



u k i f u n e

令和6年12月5日(木)
第31号

〒979-2157
南相馬市小高区吉名字中坪1



TEL 0244-44-2023

12月になりました

「いそがしく 時計の動く 師走哉^{かな}」は俳人正岡子規が読んだ俳句です。振り返れば、石川県では元日早々から相次いで天災に見舞われたり、パリオリンピックでは筋書きのないドラマに胸を熱くしたりするなど、いろいろな出来事で一喜一憂した2024年でしたが、それもあと残りひと月となりました。



今年中にやっておきたいことや残りしに気づいたことに取り組んだり、もちろん3年生にとっては受験勉強に取り組んだりするなかで、残された今年の時間を最も意識する時期となり、誰にとっても公平に訪れるはずの時間さえ、あたかもペースアップして過ぎていくように感じてしまうのは、自由奔放に生きるイメージのある俳人正岡子規にとっても同じ思いであったのでしょうか。そう考えれば、今こうして何とも落ち着きの悪いそわそわした感覚は、いつの時代のどのような身分の人であっても同じく味わっていたものと、口元が緩む思いも同時にしています。3年生たちの緊張感は緩めることはできないかもしれませんが、受験生は皆同じ気持ちでいることに目を向け、今日できることを焦らず一つ一つ積み重ねていってほしいと思います。

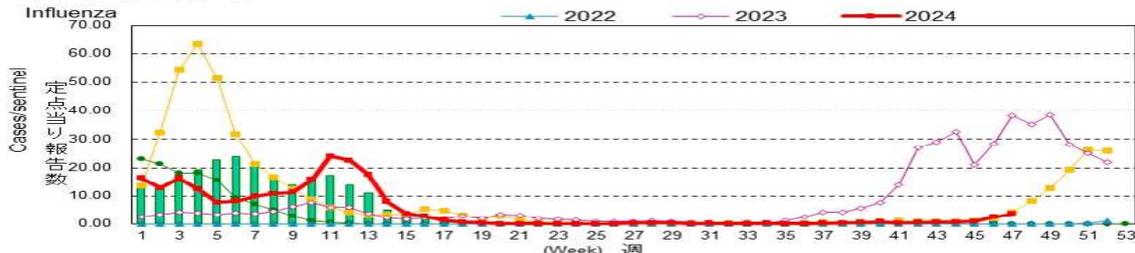
学校では今週から三者面談を実施しています。一部関係の保護者様には都合により急きょ面談日を変更させていただくなど、大変ご迷惑をおかけいたしました。面談により、この1年で大きく成長したこと、さらなる飛躍に向け取り組んでいくこと等を共有したいと思います。短い時間ではありますが、大変貴重な機会と位置づけておりますので、日程の再調整等何卒ご協力をいただきますようお願いいたします。そして、今年の終わりは途切れることなく、来年の始まりでもあることに「夢」と「希望」を持たせたいと思います。よろしくお願いいたします。

「去年今年 貫く棒の 如きもの」高浜虚子

感染症が猛威をふるっています

お知らせしました通り、今週2日(月)から4日(水)の3日間、第1学年を季節性インフルエンザ感染症拡大防止のため、学校臨時休業日(1学年1組学級閉鎖)としました。厚生労働省では季節性インフルエンザについて全国およそ5,000の医療機関から先月24日までの1週間に報告された患者数は11,678人、また、1つの医療機関あたりの患者数は前の週と比べて1.26倍の「2.36人」となり、5週連続で増加したと発表しました。都道府県別の感染状況では、福岡県が最も多い「5.79人」、次いで山形県が「5.65人」です。福島県は「3.66人」となり、2019年データを彷彿させるなど、今後増加傾向(下グラフ参照)にあると見られています。このほかマイコプラズマ肺炎や新型コロナウイルス感染症などの流行も懸念されております。冬本番を迎え学校でも感染症拡大防止に努めてまいりますので、ご家庭のご協力をお願いいたします。

インフルエンザ



※出典：福島県感染症情報センター「福島県感染症発生動向調査」